



## 12月に注意すべき感染症



前号に引き続いてインフルエンザとノロウイルス感染症について取り上げます。

まずは**インフルエンザ**についてです。9月に沖縄県の患者数が警報レベルを超え、その後も九州や関東地方等での局地的な流行がありました。全国的な患者発生数は横ばい状態でした。しかし11月に入ってから全国的にも患者数の増加が続き(図)、大阪府のインフルエンザ患者発生数も第47週(11月18～24日)に流行開始の基準を超えて**流行宣言**が出されました(大阪府感染症情報センター: <http://www.iph.pref.osaka.jp/infection/surv19/topics47.pdf>)。12月に入っても、インフルエンザ患者数の増加は続き、12月下旬ころには大阪も含めてある程度まとまった規模の流行になっていくものと予想されます。中津医療センターでは、11月11～16日の6日間にインフルエンザワクチンの一斉接種を行い、大半の職員が既に接種を行っていますが、まだ接種できていない人は速やかに接種を終了してください。今後数か月間に渡って、インフルエンザの患者発生動向には注意が必要です。



次に**ノロウイルス感染症**です。主な症状は嘔気・嘔吐及び下痢、感染経路には接触感染や飛沫感染、経口感染等があります。また、感染者の嘔吐物や下痢便の処理を適切に行わなかったために、環境中に残存しているウイルスがホコリとともに舞い上がり、数日後にその場にいて、それを吸い込んだ人が感染発病してしまう**塵埃感染(空気感染の一種)**という感染経路もあり、爆発的に多数の人に集団感染する場合があります。昨年・一昨年とノロウイルス感染症の流行は、例年と比べても小さい規模でした。今年もこれまでの所、例年より流行が大きくなるという兆候は認められず、流行の規模は昨年と同様になる可能性が高いと考えられますが、**12月は例年1年で最もノロウイルス感染症が流行する時期**です。手指衛生の徹底や嘔吐物・下痢便の適切な消毒・処理等のノロウイルス対策の実行をお願いします。(感染管理室 安井良則)

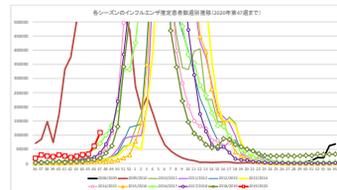


図. 薬局サーベイランスによるインフルエンザ推定患者数の週別推移(2009年第29週～2019年第47週)([http://prescription.orca.med.or.jp/syndromic/yakkyoku/yakkyoku\\_nippou/img/comment\\_graph.pdf](http://prescription.orca.med.or.jp/syndromic/yakkyoku/yakkyoku_nippou/img/comment_graph.pdf))より



## 感染対策Q&A～全問正解するまで帰れま10!～

<p><b>第1問</b> 標準予防策の考え方の中で感染性のあるものとして取り扱うものは?</p> <p>汗 爪 嘔吐物</p>	<p><b>第2問</b> マスクの着け方で正しいのは?</p>	<p><b>第3問</b> 空気感染で伝播するものは?</p> <p>麻疹(はしか) 風疹 ムンプス(おたふくかぜ) 水痘(みずぼうそう)</p>	<p><b>第4問</b> 嘔吐物処理キット内のミルトンの有効期限は?</p> <p>1ヶ月 3ヶ月 6ヶ月 12ヶ月</p>	<p><b>第5問</b> 針刺し事故時の曝露源(患者)の感染症検査の有効期限は?</p> <p>1ヶ月 3ヶ月 6ヶ月 12ヶ月</p>
--	--------------------------------------	---	---	---

2019年11月11日～11月16日まで、職員対象インフルエンザワクチンの接種会場にて、2019年度第2回感染対策研修会を開催しました。今回は『**感染対策Q&A～全問正解するまで帰れま10!～**』というテーマで、感染対策や抗菌薬適正使用に関する内容をクイズ形式で出題しました。全10問、約10分間のDVD研修でしたが、受講者からは「間違ったあ!」「本当に帰れないの?」という声や、張り切って答えてくれる先生方もおられ、職種に関わらず楽しんでいただけたのではないのでしょうか。第1回および第2回感染対策研修会を受講できなかった職員の方は、**インシデント報告システムより動画視聴が可能**となっております。クイズの答え合わせは、動画をご覧ください。また、残念ながら全問正解できなかった方も、再度チャレンジしてみてください。みなさん、全問正解目指して頑張ってください!(感染管理室 川口尚子)

<p><b>第6問</b> インフルエンザの予防投与の適応のある薬は?</p> <p>オセルトミビル リレンザ イナビル ソフルーザ アビガン</p>	<p><b>第7問</b> インフルエンザの治療薬で最も安価な薬は?</p> <p>オセルトミビル リレンザ イナビル ソフルーザ アビガン</p>	<p><b>第8問</b> 抗菌薬(抗生物質)が効く病気は?</p> <p>かぜ インフルエンザ ノロウイルス 肺炎</p>	<p><b>第9問</b> 処方された抗菌薬は症状が良くなれば中止してもよい、○か×か?</p>	<p><b>第10問</b> 抗菌薬の開発は進んでいる、○か×か?</p>
---	--	--	--	---

